

五木村東地区まちづくり
ランドデザイン策定に向けた提案
(参考資料)

目次

1. 「参考資料」について.....	1
2. 協議会で出された意見.....	1
3. 会員の感想等.....	11

令和7年3月
五木村東地区まちづくりランドデザイン協議会

1. 「参考資料」について

五木村東地区まちづくりランドデザイン協議会(以下、「協議会」という。)では、計9回にわたる議論の内容をとりまとめ、村への提案書を作成しました。

その過程において、会員から様々な意見が出されましたが、それらは提案書作成に至る経緯や提案内容の背景を知るための貴重な資料であり、今後のまちづくりのヒントになる内容も含まれていると考えます。

また、各会員が協議会に参加する中で、将来のまちづくりについて考えたことや、協議会の運営方法等について感じたことなども、今後、行政側が地域振興の推進体制を検討する際などの参考になると思われます。

このようなことから、これまでの協議会において出された意見及び会員の感想等を取りまとめた「参考資料」を作成し、記録として残すことにしました。提案書とあわせて、今後のまちづくりの参考として活用いただくことを期待します。

2. 協議会で出された意見

○協議会では、計9回会議を開催し、議論を行いました。議論の進め方、主な内容については以下のとおりです。

回数	議論の進め方、主な内容
第1回～第4回 (令和5年度)	平場の利活用を中心に、様々な分野の内容を幅広く議論。
第5回～第9回 (令和6年度)	第1回～第4回の議論及び令和6年4月の村民集会において、木下村長が新たな村づくりの方向性として「流水型ダムを前提とした村づくり」を表明されたことを踏まえ、「人口減少対策、移住定住の推進」「産業振興・賑わいづくり」「生活環境の改善」の3つの柱を設定し、テーマに沿って順に議論。

○これを踏まえ、本参考資料では、協議会で出された意見を以下のように整理し、掲載します。

第1回～第4回で出された意見	第5回～第9回で出された意見
1 人口減少対策 2 産業振興 3 生活環境 4 福祉・教育 5 平場全般 6 五木東小学校前平場・村道間平場 7 高野・坊主山平場 8 その他	1 人口減少対策、移住定住の推進 2 産業振興・賑わいづくり 3 生活環境の改善

※意見の内容について、発言された時点と現在では状況が異なるものがありますのでご注意ください。

■第1回～第4回の会議で出された意見(1/4)

1.人口減少対策に関する意見

(1)住まいの確保(宅地、公営住宅、分譲地、空き家)

- ・ 若者定住や村外からの移住者誘致のために宅地造成する平場が必要
- ・ 村内事業者の雇用確保のためにも、住まい・宅地の確保が必要
- ・ 公営住宅の家賃については制度の見直しを検討してほしい。世帯用住宅は移住定住の家族世帯に使ってもらえるようにしてほしい
- ・ 空き家の利活用だけでなく、自分で家を建てたいという人もいるのでは
- ・ 公営住宅を整備するのであれば、国・県の補助金は利用せず、村独自に低額で子育て世代や高齢者向けの住宅にすれば、定住してもらえないのではないか
- ・ 九折瀬地区の平場や農地を利用し、移住・定住用の住宅を整備してはどうか。頭地以外の地区も含めて検討してほしい
- ・ 森林組合でも九折瀬地区の集落再生に取り組んでいる。村にも提案したい
- ・ 人口減少対策について、まずは住む場所の確保が必要。中心地以外の集落で、手を付けられるところから取り組むべき。九折瀬地区には平場がある
- ・ 九折瀬地区は空き家を解体すれば平場が確保できる。安価な住宅でも整備しては。災害復興の観点からも早急に検討してほしい

(2)空き家対策

- ・ 空き家対策については、5年前からあまり進んでいないのでは
- ・ 空き家はマッチングが問題。求める人材や空き家の使い方を想定して募集したほうがよい
- ・ 頭地地区でも空き家がぼちぼち出てくる状況になっている
- ・ 空き家を除却して土地を分譲する方法もある

(3)集落再編・コンパクトシティ化

- ・ 頭地地区、宮園地区をコンパクトシティ化することが必要。一戸建てではなく、複数世帯入居できる住宅を整備し、遠隔地の人は振興基金を使って移転してもらう。水没予定地も利用できないか
- ・ 頭地、高野地区に宅地を造成し、集落再編を進めたほうがよい
- ・ 集落再編を実施し、集落の人が減ると、鳥獣被害が増え、耕作放棄地の増加につながる。バランスをとることが必要
- ・ コンパクトシティ化を進める際には、バランスが重要。スマートシティ化を進め、集落再編をしなくても快適に住めるようにする方向性もある
- ・ 20年後には人口が600人にまで減るという推計がある。20年後を考えてコンパクトシティ化に向けた議論をこの場で区長たちと進めていければ。施設や人を中心部に集めるイメージ
- ・ 人口減少は全国的な問題であり、避けて通れない。本人や家族を含めた問題であり、丁寧に議論をする必要がある
- ・ コンパクトシティ化を進めるための平場を確保するため、山を切る等の対応も考えられるのでは
- ・ コンパクトシティ化について、中心部の周りに人がいることも重要だと思うので、周辺地区の意見も十分聞いて進めてほしい

(4)移住者対応

- ・ 五木村出身の人が村にUターンし働いている。移住者から選ばれている
- ・ 行政は移住者と農地のマッチングを強化すべき
- ・ 希望する作物と耕地面積がマッチせず、農業を断念されることがある

(5)その他

- ・ 仕事の関係で村外に転出する。これが現実であり、このスピードで人がいなくなるということ

2.産業振興に関する意見

(1)観光

- ・ わいわいコンテナ(佐賀市)のような賑わいづくりのための平場が必要
- ・ 溝の口や久領地区を造成し、灯りを活かした景観形成ができないか
- ・ 平瀬地区の滝や溪谷を活かした取組みをしてほしい
- ・ できることから速やかに実行してほしい。平瀬の滝は非常にきれいなので、活用してほしい
- ・ 頭地と小鶴は良くなっていくが、中間点がなかなかよくならない。平瀬の滝や溪谷をぜひ活用していただきたい。ヤマメ釣り大会の段取りもしている
- ・ 人吉球磨地域全体で観光誘致できる方法を模索している
- ・ 観光客増のため、泉村方面の国道445号の拡幅が必要
- ・ 自然を活かしたアクティビティや観光ガイドを進めるための人材が不足
- ・ 五木村独自のアクティビティを導入したい。そのためのギアを調達してほしい
- ・ アクティビティの人材が不足している。地域おこし協力隊に来てもらえば
- ・ バンジージャンプでウォータータッチができるように、また、カヤックで移動しやすいように、溪流ヴィラ ITSUKI 前の堆積土砂を撤去してほしい

(2)農業

- ・ お茶の認証が取れないなど、一軒ではできないことが多く困っている。鳥獣被害も対策が大変
- ・ 農業委員会が新規作物としてブドウ山椒の試験栽培を行っている。耕作放棄地で拡大させてはどうか
- ・ 移住者と農地のマッチングを行政は強化すべき【再掲】
- ・ 希望する作物と耕地面積がマッチせず、農業を断念されることがある【再掲】
- ・ 野々脇地区にある椎茸団地の移転も検討してはどうか

(3)商業

- ・ 道の駅にアイスクリームが納品されなくなった

(4)情報通信基盤

- ・ 光回線(事業者を誘致し、仕事の種類を増やす)
- ・ 企業誘致のため、光回線を整備してほしい。現在の村の回線では遅く、また、個人情報流すことができない

(5)その他

- ・ 住民の意見を取り入れ、産業が繁栄するやり方をしてほしい

■第1回～第4回の会議で出された意見(2/4)

3.生活環境に関する意見

(1)買い物環境

- ・ コンビニ、スーパー等の買い物施設が必要。無人店舗でもよい
- ・ 道の駅にアイスクリームが納品されなくなった【再掲】
- ・ 商品配達については、毎日行っている業者があるため、大きい問題ではない
- ・ コンビニの要望は強いのか。何時まで営業している店があればよいのか
- ・ コンビニが欲しいというより、1時間でも営業時間を延ばしてほしいという印象
- ・ 仕事帰りに買い物に寄ることができる程度でよいのでは
- ・ 以前、道の駅の営業時間を 18:30 から 17:30 に短縮したが、売上はあまり変わらなかった
- ・ 週末に村外まで買い出しに行くのも田舎ならではの楽しみ。買い物環境は今のままでよい

(2)水道施設

- ・ 水道の管理のあり方を考える必要がある
- ・ 水道施設の維持管理が困難。緊急に改修を進めてほしい
- ・ 地区の住民が減っているが、一人減ると水道問題など生活面で支障が出る。危機感を持っている
- ・ 世帯数が減り、井戸ポンプの電気代負担が大きくなっている
- ・ 下谷地区は山奥から水を引いており、維持管理が非常に大変
- ・ 下谷地区の水道管理については、別の水源から水を引いてもらうことになり解決した

(3)防災

- ・ 災害への対応も考えて整備してほしい

(4)交通体系

- ・ 山間部に住んでいるので、ヘリポートがあるとよい

(5)その他

- ・ ヒストリアは子どもの利用が多いが授乳室がない。女性の意見が必要
- ・ 上流の河川工事箇所からホース等の資材が川に流れている。常にパトロールして撤去する体制を作してほしい

4.福祉・教育に関すること

(1)福祉

- ・ 高齢化が進んでいると感じている。福祉の対応も考えることが必要
- ・ 福祉に特化した村づくりができないか。利用料が安く、給料が高い福祉施設ができれば、若い働き手も増える
- ・ 365日型の介護施設が必要
- ・ 高齢者施設は村外者の利用も認めると、仕事が増え、雇用増になるのでは
- ・ 高齢者施設について、平等性の観点から村外者の利用を積極的に進めるのは難しいのではないか
- ・ 小中学校を統合し、空いた校舎を福祉施設や避難所として利活用しては
- ・ 施設一体型の義務教育学校化し、空いた校舎を高齢者が利用する施設としてはどうか

(2)義務教育校(小中学校統合)

- ・ 小中学校を統合し、空いた校舎を福祉施設や避難所として利活用しては【再掲】
- ・ 施設一体型の義務教育学校化し、空いた校舎を高齢者が利用する施設としてはどうか【再掲】
- ・ 小中学校を統合する場合、教室数確保のため増築が必要

(3)登下校

- ・ 中学生が安全に下校できるよう、頭地～高野～小八重橋にかけて街灯を整備してほしい

(4)スポーツ・部活動

- ・ 部活動が社会体育に移行した後も、スポーツを指導できる人材を確保してほしい
- ・ 子どもの肥満率が高いと聞いている。頭地-高野-小八重橋の間にゴム床を敷くなど、散歩、ジョギングしやすい環境を整備してはどうか

5.平場全般に関すること

(1)候補地

- ・ 溝の口、久領を湛水位より上まで埋め立て、住宅や観光施設の用地にできないか
- ・ 頭地大橋下流側にも平場を造成してはどうか。駐車場は道の駅前にあったほうが便利。景観や学校へのアクセスも含めて検討してはどうか
- ・ 中学校の斜路はそれほど利用されていない
- ・ 平場造成に当たり、高野代替地と坊主山との連携を図れないか。溝の口の木材置き場周辺も土地の問題が解決すれば平場として活用可能
- ・ 土会平には用途がはっきりしない平場がある。広げて宅地などに利用できないか
- ・ 上平瀬の学校跡地は平場の候補地になるのではないか
- ・ 久領地区をかさ上げして平場を作ることができないか。約 30,000 m²では農地とするには狭い
- ・ 溝の口の嵩上げ部分は元々茶畑があったところ。面積があるため、農地にできないか
- ・ コンパクトシティを進めるための平場を確保するため、山を切る等の対応も考えられるのでは【再掲】

(2)水没予定施設の扱い

- ・ 五木源パーク等の既存施設も含めて検討する必要がある
- ・ 五木源パークの移転先、住宅用地
- ・ 旧林業センター体育館、五木源パークの利活用についても検討が必要
- ・ 野々脇地区にある椎茸団地の移転も検討してはどうか【再掲】

(3)進め方

- ・ 全体的な計画は必要だが、時間をかけて段階的に整備していく方法もある
- ・ 事業は時間が重要。平場を整備する場合、国には早めに進めてもらい、利活用については村で積極的に議論し、時間短縮する必要がある
- ・ 小学校前平場や高野・坊主山平場は一つずつ整備するのか、並行して整備するのか
- ・ 平場の活用について未来を担う子どもの意見を求めるのはよい
- ・ 平場を整備するならば、よいものにする必要がある。村民や子どもたちの意見を聞く場が必要
- ・ 平場の利活用は村民みんなが集まって議論するとまとまらないため、代表者で決めればよい。小学校前平場の一区画のみ小学生に決めてもらうといったやりかたもあるのでは

(4)必要性

- ・ 平場整備に前向きな議論がされているが、本当に平場は必要なのか
- ・ 平場はあったほうがよい。何かにチャレンジするときに、平場がないと何もできない。使いたい人がすぐに使えるような平場を造ることが必要

(5)その他

- ・ 建物のための平場確保は困難では。何を目的とした平場なのか不明
- ・ 平場の位置、規模を先に決めないと議論できないのでは
- ・ 冠水頻度や平場の高さを決めないと具体的な議論ができないのでは
- ・ 満水位が中学校グラウンド以上まで来るのであれば、平場は整備しにくいのでは
- ・ ダムをつくる前提で考えているのか
- ・ 平場の所有権についてはどう考えているのか

■第1回～第4回の会議で出された意見(3/4)

6.五木東小学校前平場・村道間平場

(1)利活用のアイデア

- ・ 小学校前平場に家を建てるとう景観が悪くなる。子どもの遊び場や自転車大会の駐車場等に利用してはどうか
- ・ 小学校前平場は国道沿いにあり商売上の立地はよい。仮設等の短期的に貸せる場所にしてはどうか
- ・ 小学校前平場の下流側は、景色もよいため公園と一体化したカフェ、物販、飲食店が2, 3軒あると村民も利用しやすく、需要がある
- ・ 小学校前平場の下を立体駐車場のよう利用してはどうか
- ・ 小学校前平場の下の部分を立体駐車場にできないか
- ・ 小学校前平場を駐車場にする場合は、車が目立たないよう、公園の中に作ってはどうか。雨宿りできるような東屋があってもよい
- ・ 小学校前平場について、普段は駐車場でもよいが、運動ができるサブコートなどができないか
- ・ 村内には住宅の需要があると思う。小学校前平場について、上流側は住宅、下流側を駐車場、公園、商業用地にするなど、使い方を考えてもよいのでは
- ・ 小学校前平場は部分によって用途を変えて利用したほうがよい。上流側であれば建物を建てても交差点部からの視認性に影響はない
- ・ 小学校前平場の外側にベンチを整備してはどうか。また、擁壁の前面に桜を移植して圧迫感を軽減してはどうか
- ・ Park-PFI は全国に広がっている。民間活力を取り込むため、村外も含めた公募を検討してほしい

(2)利活用を決めるための意見収集

- ・ 今後、村民や観光客のニーズ把握、運営主体の議論が必要。そのためにも村民に丁寧に周知してほしい
- ・ 小学校前平場を利活用できるのは5～6年先。そのころ中堅として活用しそうな人材を中心に議論する必要があるのではない
- ・ 時間はとても重要。若手世代が重要になる
- ・ 小学校前平場の利活用については、いろいろな方の意見を聞く場を是非設定してほしい。例えば小中学生や高校生など子どもの意見も重要
- ・ 平場の利活用は村民みんなが集まって議論するとまとまらないため、代表者で決めればよい。小学校前平場の一区画のみ小学生に決めてもらうといったやりかたもあるのでは【再掲】

(3)景観配慮

- ・ 小学校前平場に家を建てるとう景観が悪くなる。子どもの遊び場や自転車大会の駐車場等に利用してはどうか【再掲】
- ・ 観光客も訪れる景観がよい場所で、一つの財産。建物などで視界が遮られないようにしてほしい
- ・ 小学校前平場は景観条例の重点地区に該当していることを踏まえた検討が必要
- ・ 小学校前平場に建物を建てる場合、高さは見通しに配慮してほしい
- ・ 小学校前平場について、公園・駐車場を整備する場合は、大型ダンプの駐車により河川への景観が阻害されないようにしてほしい
- ・ 小学校前平場は村の中心部にあり目立つので、工事の際にも配慮が必要

(4)交差点の視認性確保

- ・ 小学校前平場の利活用について、頭地大橋停止線からの視認性を阻害しないようにしてほしい
- ・ 頭地大橋と国道445号の交差点に五木村初の信号を整備してはどうか

(5)桜・モミジの移設

- ・ 小学校前平場にある桜の木は林研クラブがこれまで手入れしてきたので、移設を検討してほしい
- ・ 小学校前平場について、モミジの取扱いも検討してほしい

(6)擁壁

- ・ 小学校前平場の擁壁は景観のため、ツタ等で緑化してはどうか
- ・ 小学校前平場の擁壁について、直壁は威圧感があると思う。着色すると経年で色が落ち、汚らしく見える。それらを含め、景観に配慮してほしい
- ・ 村道を付け替える際に道沿いに桜の木を植えれば威圧感が軽減するのでは。景観上もよい
- ・ 小学校前平場の擁壁について、消防署横平場の高さはそれほど気にならない。ツタを這わせる等の工夫をしてほしい
- ・ 擁壁が隣接したところに木を植えることは大丈夫なのか
- ・ 面積は小さくなるが、景観に配慮して段々にすることもできるのでは
- ・ 自然林が再生できるような形での擁壁は技術的に可能なのか
- ・ 小学校前平場の外側にベンチを整備してはどうか。また、擁壁の前面に桜を移植して圧迫感を軽減してはどうか【再掲】
- ・ 小学校前平場の擁壁について、着色タイプは経年により汚れて見える。植生タイプは維持管理上の課題がある。よって、標準タイプがよい。桜やモミジを植えるとよいのでは
- ・ 九折瀬の砂防堰堤は完成直後は白かったが、時間経過によって汚れなどによって目立たなくなった。かなり床掘されていたため、地盤沈下もないと思う

(7)村道付替え・拡幅

- ・ 村道中学校線はスクールバスと乗用車が安全にすれ違える広さにしてほしい
- ・ 村道中学校線を拡幅する際に、通行止めなどにより、溪流ヴィラ ITSUKI へのアクセスに村道溝の口線を利用することになる。溝の口線にはクラック等があるため、通行しやすく整備してほしい

(8)階段

- ・ 小学校前平場の階段については、何に使うかが重要。今ある階段はほとんど使われていない
- ・ 高い位置から階段で降りるのは危ない。階段はないほうがよい

(9)両平場の一体的整備

- ・ 村道溝の口線をつぶして村道中学校線まで一体的に平場を整備してはどうか
- ・ 小学校前平場と村道間平場をつなげて整備できないか
- ・ 小学校前平場と村道間平場をつなげて整備することは検討したのか
- ・ 小学校前平場と頭地大橋の広場をつなげることはできないか

(10)その他

- ・ 小学校前平場は九折瀬地区の砂防ダムと同じく地盤沈下しないと思うので、整備を進めたほうがよい
- ・ 小学校前平場の整備スケジュールは
- ・ 小学校前平場の工事行程(擁壁整備、盛土、桜移植)を教えてください
- ・ 小学校前平場は最短でいつできるのか。また、整備の最終的な了解は誰がするのか
- ・ 平場を駐車場や宅地として整備する場合は強固にする必要がある
- ・ 小学校前平場は九折瀬地区のように工事期間がかかるのではない
- ・ 小学校前平場について、高低差があるため排水について工夫してほしい
- ・ 平場整備の際の土砂は坊主山からの運搬を想定しているのか
- ・ 平場造成の際、地盤改良をするのか。大平代替地では60cm程度地盤沈下したため、家の着工に5年ほど時間がかかった
- ・ 小学校前平場整備の進め方について、駐車場や建物を建てるスペースが足りないなどの課題解決を優先的に検討し、用途や配置が決まった後で景観上の配慮を検討してほしい
- ・ 使い方を軸に平場整備を進めていきたい
- ・ 小学校前平場の整備、坊主山の切土は利活用の検討と並行して出来るだけ早く着手してほしい

■第1回～第4回の会議で出された意見(4/4)

7.高野・坊主山平場

(1)利活用のアイデア

- ・ 高野・坊主山平場は日当たりがよいので水上村のようにグラウンドにしてはどうか
- ・ 高野・坊主山平場について、頭地からの見栄えは悪くなるが、地域振興の観点から体育館や住宅を整備すべきでは
- ・ 高野・坊主山平場について、農地として整備する場合は造成方法が変わる
- ・ 高野盛土は農地、坊主山は景色がよいので公園、展望所などの観光利用がよい。斜面を活かした御立岬のような施設を整備してもよい
- ・ 高野・坊主山平場について、農地にすれば将来的に耕作放棄地になる可能性がある。景色がよいので、観光地や村営住宅、体育館等の利用がよい。山江村のような広い駐車場がある住宅を整備してはどうか。桜の植栽やサイクリング・マラソンコース等の利用はどうか
- ・ 観光面からは道の駅を起点に回遊させた方がよく、高野・坊主山平場を観光で利用するのは厳しい。農地や宅地が望ましい。住宅ができれば、職員も雇用しやすい
- ・ 今の高野代替農地に家を建てることは可能なのか。使っていない畑もあるため、代替農地のほうに住宅を作ったほうが安全性を確保できるのではないか
- ・ 高野・坊主山平場は先に工事をはじめ、利活用は後から考えてもよいのではないか
- ・ 農業をしたい人を募集して整備する方法もある
- ・ 高野・坊主山平場は日当たりがよい立地のため、出来るだけ早く整備してほしい。林業大学の宿舍、県立大学の五木教室、福祉施設の整備等を想定すると、規模がわかり議論も進めやすい
- ・ 林業大学校は賑わい創出など経済効果はあるのか。高野・坊主山平場は景観がよい場所なので林業大学校を整備するのはもったいない気もする。観光の目玉となるものを整備したほうがよいのでは
- ・ 大学だけではなく、木のことを学べる子どもの遊び場も整備するなど、複合的なものになるとよい

(2)アクセス・レッドゾーン

- ・ 高野・坊主山平場を整備すると、今ある五木源パークまで降りる道がつぶれ、国道からのアクセスが悪くなる。レッドゾーンに指定されていると思うが、宅地にする場合の安全面はどうなるか
- ・ 高野・坊主山平場の利便性は道路のつけ方で変わってくる

(3)その他

- ・ 坊主山平場には何か計画があるのか
- ・ 平場造成に当たり、高野代替地と坊主山との連携を図れないか。溝の口の木材置き場周辺も土地の問題が解決すれば平場として活用可能
- ・ 高野代替農地は雑種地の扱いであったと思う
- ・ 農地を宅地に変えるのは、手続きの他、土の改良も必要なのか
- ・ 高野・坊主山平場は広さを優先して整備したほうがよい
- ・ 小学校前平場の整備、坊主山の切土は利活用の検討と並行して出来るだけ早く着手してほしい【再掲】

8.その他

(1)多様な意見の聴取

- ・ 女性の意見を聞く場を設けてほしい
- ・ ヒストリアは子どもの利用が多いが授乳室がない。女性の意見が必要【再掲】
- ・ 小中学生を持つ若者の意見を聞くことが必要
- ・ 今の学生や子どもたちに居続けてもらうための施策、仕組みが必要。子育て世代の意見も聞いてほしい
- ・ 小学校前平場を利活用できるのは5～6年先。そのころ中堅として活用しそうな人材を中心に議論する必要があるのではない【再掲】
- ・ 時間はとても重要。若手世代が重要になる【再掲】
- ・ 村議会が最終決定するのであれば、村議を協議会に入れることでスピーディーに進められるのではない

(2)ダム問題・地域振興

- ・ 村ははっきり方向性を示してほしい。また国、県、村には色々と早く取り組んでほしい

(3)その他

- ・ 過去の会議の質問を整理し、解決していくことが必要。テーマを1つに決めて議論すべき
- ・ 会議で出された意見がどのように扱われたかわからないことがある
- ・ 道の駅の上にある未舗装の土地は何に活用するのか

■第5回～第9回の会議で出された意見(1/5)

1. 人口減少対策、移住・定住の推進

(1)移住・定住を推進するための住まいの確保

■ 対象者について

- ・ 幼い子を持つ若い世代の意見を聞くことが必要

■ 短期的な取組み(空き家対策)

- ・ 「古民家」の観点から空き家を考えることも必要
- ・ 外観調査によるランク付けだけではなく、各物件の個別事情について調査が必要
- ・ 空き家の相談対応、調査、マッチング等を専門的に行う人材や体制の確保が必要(民間活用含む)
- ・ 空き家の修繕や除却等、流動性を高めるための助成は金額もよく考えて(解体費を考えると50万円では足りないのではないか)
- ・ 空き家を除却し、発生した空地进行を流通させる仕組みも必要
- ・ 空き家の相続や権利関係の課題を解決するための支援が必要
- ・ 空き家バンク登録を促すインセンティブとなる仕組みづくりが必要
- ・ 空き家バンクの更なる周知が必要

■ 中長期的な取組み(平場の活用・住宅整備)

- ・ 平場の確保はダム完成までと言わず、一日も早く取り組んでほしい
- ・ 平場に関する情報(整備時期等)については、可能な限り情報提供してほしい
- ・ 村内の家賃相場にあう住宅の確保が必要(民間賃貸住宅は高額になるため不適、公営住宅が理想ではないか)
- ・ 移住者はまず賃貸物件に住み、地域を気に入ったら家を建てる流れと考えられる。このため、まずは賃貸物件が必要ではないか
- ・ 村営住宅の払い下げを希望する入居者がいる

■ その他の取組み

- ・ 九折瀬地区は空き家所有者の情報を把握しているため、速やかに対応ができると思われる

(2)移住・定住を推進するための東地区の魅力づくり

- ・ 移住者が地域に馴染むためのフォローアップ、環境整備が必要
- ・ 人手不足の村内企業もあるため、村内の求人・企業情報を移住希望者に情報提供してほしい

(3)関係人口の創出・拡大に向けた取組み

- ・ 都市部と山間部の交流、越境学習など、関係(交流)人口増加に向けた取組みが必要

2. 産業振興・賑わいづくり

(1)流水型ダムを前提とした水没予定地および村有施設の利活用(移設含む)による観光の推進等

■ 溪流ヴィラITSUKIについて

①移設先

- ・ 五木村の宿泊者の約半数はヴィラ。観光客向けの宿泊施設として、ヴィラを移設し存続させることが必要
- ・ 坊主山がよい。清流川辺川を一望でき、景観を売りにできる
- ・ (住民感情として)坊主山を切り開くこと自体がどうか、という意見もある
- ・ 現在地に復旧してはどうか
- ・ 休止期間の対応が伴うため難しいのではないかと
- ・ 川が見える中学校横の耕作地が良い
- ・ 川が見えて眺めがよい場所が望ましいが、安全の確保は必須
- ・ 「川沿いにある」というコンセプトを大事にし、東地区に限らず、川沿いで景観やアクティビティのしやすいなど環境の良い場所があればそこに移転するのも一つの方法ではないか

②施設等

- ・ ヴィラは宿泊代が高く、収容人数が限られるため、ヴィラより安価に泊まれるホテル型の宿泊施設が必要
- ・ 小型のマイクロバス利用者(30 人程度)が泊まれる、1.5～2 万円程度の価格帯の宿泊施設が良いのでは
- ・ 今後、経年劣化による改修も必ず必要になってくるので、移転時期はそのような点も踏まえて検討するべき
- ・ 移転にあたっては宿直室、リネン室も整備してほしい。敷地面積は今ほどの広さは必要ではなく、運営しやすい規模や施設配置としてほしい
- ・ 雨天時のことなどを考えると宿泊施設と食事施設をコンパクトにまとめた方がよい
- ・ どこに何を移設するか、というハード面は当然重要であるが、宿泊やアクティビティの専門家等の人材確保というソフト面も重要なのであわせて検討していただきたい

■ 五木源パークについて

①嵩上げの要否

- ・ 浸水しないように今の場所のまま嵩上げした方がよい
- ・ 天然芝が売りなので、水没しない高さまで嵩上げした方がよい
- ・ 嵩上げすると川との距離は遠くなる
- ・ 嵩上げせずそのままよい
- ・ 浸水した際は土砂が堆積するため維持管理が大変
- ・ トイレや自動販売機が浸水するのでは
- ・ 浸水後も維持管理しやすい人工芝等にしてはどうか
- ・ 芝生の範囲は水没後にデコボコしないように地盤改良した方がよい

②その他

- ・ 現在の使われ方として、遠いため村の子どもだけで遊びに行くことはほとんどない。大型遊具は頭地地区など、遊びやすい場所に移設する考えもある
- ・ 旧村道が使えないと、五木源パークを利用しづらくなる。水没地内の橋梁や村道等が貯水時に損傷した場合、補修などについては国でしっかり対応してほしい

■第5回～第9回の会議で出された意見(2/5)

2. 産業振興・賑わいづくり (つづき)

■ カヤック等の水上アクティビティについて

- ・ 九電の施設(川辺川第一取水堰)が無くなると水上アクティビティが出来なくなるため、代わりとなる施設を造るなど、水面を維持してカヤック等のアクティビティが継続できると良い

(2)東地区における交流の促進(賑わいづくり)

■ 道の駅

- ・ 改修内容について、観光情報センターが手前の目立つ場所にあった方が良いのではないか
- ・ 上にある未舗装の駐車場は外部の人に位置がわかりやすくしたほうがよい。また、道の駅と高低差があるため、スロープ等を設けて高齢者や障がい者が移動しやすく整備することが必要
- ・ 道の駅前の駐車場は満車になるのが早いため、満車であることがわかるように表示できるとよい
- ・ 国道445号沿いの駐車スペース確保を急いでほしい。ベンチなどもあれば、利用が増えると思う
- ・ レストランがないため、イートインスペースに温かいもの(うどんなど)が食べられるような自販機を設置してはどうか

■ 温泉施設「夢唄」

- ・ 温泉に入った後に食事するところがない
- ・ 安価に宿泊できるように改修してはどうか。働く人員確保が難しいので、スマホで受付・決済や鍵を済ませられるなど、DX化する等の工夫が必要
- ・ 交流センターを解体してRVパークを整備してはどうか

■ 周遊を促す仕組み

- ・ 道の駅と温泉施設が少し離れているため、道の駅で温泉の割引券を配るなど、各施設を往来させるようなソフト的な仕組みが必要
- ・ 道の駅、ヒストリアテラス五木谷、温泉施設は微妙に距離が離れており一体感がないため、ソフト面で一体感を出せるような運用を考えることが必要

■ ヒストリアテラス五木谷

- ・ 入ってすぐにある展示の入れ替えがあると楽しめるのではないかと

■ 食に関すること

- ・ 食事処が少ないため、食事処を増やすことと、食事処を紹介することが必要
- ・ 軽食など気軽に食べられる価格帯の食事もあると良い
- ・ 五木村ならではの食(メニュー)を開発してはどうか

■ 新たな交流(賑わい創出)

- ・ 五木源パーク付近に、安全を確保した上でボート遊び・水遊びなどができる空間があると良い
- ・ 昔実施していたホタル祭りのようなイベントで交流の場を創出してはどうか
- ・ 滞在時間を延ばすため、地域の伝統文化や山々など、村の地域資源を活かした取組みを活用してはどうか(里山に散策路を設ける等)
- ・ 紅葉が魅力の一つだが、通行止めによりアクセスできない現状がある。スムーズに見に行ける道路整備や案内が必要
- ・ 神屋敷にあるJNCの取水堰について、今後施設を使用しない場合は、管理用通路に明かりをとすなど観光面で利活用できないか
- ・ 川を背景に写真を撮れる場所が少ないため、そのようなフォトスポットがあったほうがよいのではないかと。平場造成時などに検討してはどうか
- ・ 村のダムに関する歴史をテーマにしたツアーの受け入れなどできないか
- ・ 農家への民泊など、五木村全体で宿泊施設の運営を検討できないか
- ・ 観光客がサイクリングできる自転車道や、大学の合宿施設を整備する平場ができるとよい
- ・ 五木村は過疎地であり、近所への騒音などの配慮が不要で楽器の練習などに適した地域。そのような趣味を楽しむスペースがあっても良いのでは

■ アクティビティ関係

- ・ 観光客は日帰り客が多い。滞在時間を長くするため、現状のバンジージャンプやサップのほか、ジップラインのような新たなアクティビティの追加が必要
- ・ 土砂の堆積や物品の老朽化、人手不足が課題でアクティビティの予約を断っている現状がある。村外とも連携して人材を確保することも考えられる

■ その他

- ・ 観光の推進は、村民一人一人がおもてなしをするという気持ちを持って取り組むことが重要
- ・ バンジージャンプやカヤック等のコンテンツはあるため、PRのやり方を根本的に見直し、発信力を強化すべき

(3)農業・林業・商工業の促進

■ くまもと林業大学校県南校関係

- ・ 機能拡充を実現し、五木村の発展に寄与するような人材を育成してほしい
- ・ 林業大学校の卒業生を五木村に根付かせて働いてもらうことが必要。しっかり検討してほしい
- ・ 若い林大生が学校が終わった後、夜楽しめる明かりのある場所が必要。例えば、空き家を改修して交流スペースとするなど、交流の場があったら良い(長野県根羽村の事例あり)
- ・ 林業の作業員が減っており、雇用を増やすことが必要。九折瀬地区の建物を改修し林業従事者の滞在施設にする、協力隊を活用するなどの方法がある
- ・ 林業大学校は人材育成する場としてとても重要である一方で、卒業した人材が活躍できる場を五木村でどのようにつくるか、ということも考える必要がある。例えば大学の事例を参考に、卒業生にも先生として人材育成に関わってもらうような良い循環をつくる方法もある
- ・ 中間土場や天然木の加工場など、林業関連施設を設けてほしい
- ・ 人吉高校五木分校を林業大学校までの一貫校にすることや、学生寮を作ることで賑わい創出につながるのではないかと

■第5回～第9回の会議で出された意見(3/5)

2. 産業振興・賑わいづくり (つづき)

(3) 農業・林業・商工業の促進(つづき)

■ 農業

- ・ ぶどう山椒は収益性が高いため、どうにか成功させて農業振興に発展させてほしい

■ その他

- ・ 名物となるような特産品を活用した商品開発が必要ではないか。商品開発のグループがあると良い
- ・ 文房具や雑貨等の必要物品は多様で在庫の確保が難しいが、学校と連携することで道の駅や既存店舗が必要な物品を置くこともできるのではないかな

(4) 企業誘致・地元事業者支援・人材確保

■ 企業誘致

- ・ 大規模な企業誘致はイメージできない。林業関係やインターネットを活用するオフィス系の企業は可能性があるのではないかな
- ・ 企業誘致については、今ある複合共同組合をどう拡大していくかということも重要。既存の複数の小さな企業を組み合わせる働くという、百姓的な新しい働き方を提供することも考えていただきたい

3. 生活環境の改善

(1) インフラ

■ 街灯

- ・ 街灯が少なく、夜暗い場所がある。縁石がわかりづらく、危ない
- ・ 代替地造成から20年が経過し、街灯の点灯装置の交換時期を迎えている。交換経費は地区負担だが、高額(1基3～4万円)であるため、村の支援があるとよい
- ・ 頭地地区から高野地区までの街灯が全然ない。地区が費用負担しないとイケないため、実現しなかった。歩道もあり、将来的に必要なインフラである
- ・ 代替地は街灯が少なく、暗い

■ 防犯

- ・ 不審者対策として防犯カメラがあるとよい。集落の入口に設置してほしい

■ 地盤

- ・ 頭地代替地の下には伏流水が流れているため、地盤の変動が心配。以前は数年おきに国交省が調査していたが、定期的に調査してほしい。ダム完成後の試験湛水前後の調査も行ってほしい

■ 水道

- ・ 高野地区では若者から管理を村に預けたいという意見が出ている。将来的な管理上の不安があることに加え、管理にかかる費用が高騰し、水道代を上げないと対応できない。高野地区では将来的に水道料金を上げる話が出ている
- ・ 移住・定住を進めるためには上水が必要、下水は浄化槽がある。九折瀬地区はボーリング調査が行われており、問題ない
- ・ 五木村は水が多いイメージがあるが、飲める水は少ない。沢水はあるが飲み水にはできない
- ・ 農業委員会でわさびを作ろうと計画したが、大雨等でどこの沢も濁ってしまい、栽培に適した水源が見つからなかった

■ 新告知端末(タブレット)

- ・ 単身生活の高齢者が体調不良等の緊急時に隣近所に連絡できる機能があるとよい
- ・ 新端末のタブレットを用いて買い物の注文を行い、コミュニティバスが配送する代行があるとよい

■ 福祉

- ・ 現在の告知端末に、高齢者の安否確認を行うための「たっしゃボタン」があるが、利用者が少ない。村で再度周知してもらうとよい
- ・ 義務教育学校の開設に伴い、保育園も中学校に移転させる話もあると聞いた。そうする場合、保育園跡地には介護福祉施設として利用してはどうか

■ 付替村道・全体

- ・ 付替村道が整備されれば、サイクリングロードとして周遊でき、走って気持ち良い道路になるのではないかな
- ・ 早く村道を整備すればマラソン等のコースにも使用しイベントなどに利用できるのではないかな。イベントを開催するには宿泊施設も必要になる
- ・ 歩道の整備も一緒に行ってほしい。五木村の子どもたちの肥満率が高く、高野橋から小八重橋までの区間が危ない箇所もあるので整備して大人も子どもも健康増進につなげてほしい
- ・ 道路・橋梁の耐久性も懸念。いずれ架け替える必要があるが、迂回路をどう確保するか
- ・ 右岸側の付替村道が開通しないと、国道445号が災害で寸断された場合に住民が孤立する。観光、産業、医療にも影響する。過去の災害で宮園地区の住民が苦労したため、整備してほしい
- ・ 迂回路として林業に使える形がよい

■ 付替村道・逆瀬川区間

- ・ 逆瀬川区間は林業に使える道路線形にしたほうがよいのではないかな
- ・ 逆瀬川区間は林業のために早く道を整備してもらいたい

■第5回～第9回の会議で出された意見(4/5)

3. 生活環境の改善 (つづき)

(1)インフラ(つづき)

■ 付替村道・久領－掛橋区間

<肯定的意見>

- ・ 災害時には迂回路が必要。宮園地区等が孤立する可能性がある。全国的に災害が頻発化しており、平沢津側から宮園方面に迂回して行けなくなる可能性がある
- ・ 久領－掛橋区間は崩落が多く、地山を掘ると崩落してしまう。紅葉もきれいなため、トンネルで抜けるようにしていただきたい

<否定的意見>

- ・ 日常生活での利用の観点からは、久領－掛橋区間、金川－元井谷区間の付替村道は必要ない
- ・ 掛橋付近から100m程度道路を伸ばしていただけると、林業が施業しやすい
- ・ 久領－掛橋区間の村道はいらない。地盤が弱くて災害の可能性がある
- ・ 崩れると見栄えが悪い。モミジやサクラなどの広葉樹を植えたほうが景観的にはよいのではないか
- ・ 久領－掛橋区間の村道を整備することで工事関係の方が頭地を通らなくなり、道の駅などの購買層が減少してしまう可能性があるのではないか
- ・ 迂回路を造るより国道を補強して壊れないようにしたほうがよい
- ・ 上流側は一本しか道がないので整備しても意味がないのではないのか

■ その他

- ・ 以前の計画では、トンネルを迂回する作業道を整備することになっていた。ダムの様式が貯留型から流水型に変わったため、そこまで整備する必要があるか議論の余地はある
- ・ ヒストリアテラスに授乳室を作ってほしいという意見を聞いたことがある
- ・ トイレは地区ごとにあり、いい設備をしている。ほかの市町村と比較してもきれい

(2)買い物環境

■ 高齢者支援

- ・ 福祉サービスとして高齢者の買い物支援サービスがあるが、自分で商品を実際に見て買いたいという方が多く、利用者が少ない
- ・ 高齢者が近所の商店やバスで人吉に行って買い物している。産交バスが廃止になった場合に対応が必要。村営バスが考えられるが、予算や人材の確保が課題
- ・ 高齢者の中には、近所の人に乗せてもらって買い物に行っている方もいる。今は共助ができているが、今後の人口減少に不安を感じている人も多いのではないか
- ・ 福祉の観点から高齢者の買い物支援が必要
- ・ 免許を返納された方に貸出できる電動カートがあればいい。高齢者には道の駅から早田商店間などへの移動が大変であるため、電動シニアカーを村で整備して講習を一回受けた方には無料で貸出してはどうか
- ・ 自動運転のレベル4が村内で実験できるのではないか
- ・ つくば市では買い物した際にセンサーを付けた機械が人を追跡し、荷物を持って行ってくれるロボットがある
- ・ 若い人は村外に行くが、高齢者は村内で買い物をされる。村内で買い物をすると価格が高いので、村が直営で店を出すよりも、一部費用(差額)を負担するような支援制度があればよいのではないか
- ・ 高齢者に向けたケア、価格差を埋めてあげる工夫が必要

■ 品揃え・サービス

- ・ 改修中の道の駅の村民向けコーナーを充実できれば、ある程度充足される
- ・ コンビニについて、何が魅力なのか分からない。道の駅に何を置いてほしいのか分からない。スイーツとか食べ物のイメージであるが、実際は不明である
- ・ 改修後の道の駅にどんな商品があるとよいか若者を集めて聞く会を設けたい
- ・ 食パンや卵など、毎日食べるものが確保できるとよい
- ・ ATMとマルチコピー機がほしい意見が多い
- ・ 100円コーヒーなどがあれば人が寄るかもしれない

■ 交通手段

- ・ 車を運転できるうちは不便だと感じない。人吉に買いに行けるうちは問題ない
- ・ 東地区には人吉から移動販売が来ていない
- ・ 実家(大分県)近くのスーパーでは買い物のためのマイクロバスを運行している。近所の高齢者を自分の車に乗せてスーパーに連れていき、帰りは産交バスに任せている
- ・ お店に行くためのバスがあればよいのではないか
- ・ 道の駅に行くためにコミュニティバスが運行されている
- ・ 新端末のタブレットを用いて買い物の注文を行い、コミュニティバスが配送する代行があるとよい【再掲】
- ・ 道の駅による配達となると頭地地区にしかできないため、うまくバスを活用したい
- ・ 西米良村は湯前町に買い物用のシャトルバスを出している。同じようなことが考えられないか。そうすれば買い物は他の町で行うことができる
- ・ 車の運転ができるので困ってはいないが、車の運転をしなくなったら困ると思う。町に買い物に行くのも楽しみ

■ 営業時間

- ・ 道の駅の営業時間の延長は収益と人材確保の観点から難しいのではないか
- ・ 温泉施設が21時まで営業しており、道の駅も21時まで営業時間を試験的に延長することも検討していきたい
- ・ 村内の商店は閉店時間が早いため、村内で宿泊する方は特にお酒を買うことができない。また、溪流ヴィラ ITSUKI は酒類販売の免許を取ることができない

■ 自動販売機

- ・ 営業時間を延ばすのは人的問題もあり難しい。相良村が自動販売機を設置しており、利用者も多い。初期費用を確保するのが難しいので支援してもらえると買い物環境もよくなるのではないか。道の駅に設置し、食品から日用品まで幅広い商品を購入できるようになるとよい
- ・ コンビニよりも自動販売機のほうが五木村にはよいかもしれない
- ・ 現在は無人コンビニもある
- ・ たまごや牛乳、納豆など、毎日食べるものがあるとよい。各地区にあるとよい
- ・ 道の駅がきれいになったので、食べ物があるとよい
- ・ 菓や熱さまシート、おむつなどが販売されておらず人吉まで下りて購入するので、緊急時に対応できるものがあればよいと思う
- ・ 人がいなくてもよいので夜も購入でき、コンビニ代わりになる
- ・ 自動販売機は既設の店と商品等被らないように配慮する必要がある
- ・ ポイ捨て防止のため建物の中に自動販売機があるとよい

■第5回～第9回の会議で出された意見(5/5)

3. 生活環境の改善（つづき）

(2) 買い物環境(つづき)

■ その他

- ・ 不便を感じていない
- ・ 平成27年度に実施されたコンビニの社会実験について、10日限定の取り組みだったので関心を持たれ利用者が多かったが、通年になればこれほど利用されないと思う
- ・ 生協の宅配もくる

(3) その他

■ 再生可能エネルギー

- ・ 電気代やガソリン代が値上がりしており、村民向けの電力を安価に確保することが重要。再生可能エネルギー（太陽光、小水力、バイオマス等）を組み合わせる必要がある。砂防施設等を利用した小水力発電もあり得るのではないか
- ・ 大規模な太陽光発電は景観上、望ましくない
- ・ 上屋敷の堰から久領まで水路が通っているため、発電に生かしてほしい

■ ゴミ処理・リサイクル活動

- ・ 頭地地区のゴミステーションに地区外からの持ち込みがあるため、改善してほしい
- ・ PTA でリサイクル活動を年に 2 回行っているが、子どもと保護者が少ないため各地区を回るのが難しくなっている。村でリサイクルボックスを 2 カ所ほど設け、住民が自分で入れに行く施設があるとよい。学校と連携できるとよい
- ・ 剪定した木の枝の処分について、指定ゴミ袋に入れるためには細かく切る必要があり、袋も破れやすい。そのまま捨てられるところがない。チップにして肥料にするなど活用できないか

■ 平場関係

- ・ 五木源パーク付近の五木小川を付け替えて直線化できないか。左岸側にまとまった面積の日当たりのよい平場が確保できる
- ・ 流速が早くなり、ヴィラ ITSUKI などの下流側に影響しないか。五木源パークは冠水しないようにした方が、後々の使い方が楽なのではないか。完全に冠水しない形がよい
- ・ 頭地地区の候補地のうち、切土整備を計画している箇所については、昔からシラスが出ており、地域住民から危ないという意見が出ている。どうしてもこの場所に平場を必要とするのであれば、地域住民の理解を得ることを条件にしたい
- ・ 小学校の前、溝の口方面、ヴィラあたりは盛土後の法面の勾配が急である。溝の口方面に盛土を行うと川が近くなるため、川遊びができる可能性が高い
- ・ 坊主山の平場は農地として活用できると考えている。構造物を作るところではない
- ・ 坊主山は削るだけであれば早々に整備できるのではないか

■ 観光・地域資源

- ・ 瀬目の売店などお店が開けないのであれば、観光客向けに五木村を発信する資料を公開するのはどうか
- ・ 太平銅山を魅力ある銅山として、村の資源や文化を残してほしい。教育委員会のもと小中学生を案内している。国交省が道の整備をしており、子どもたちも降りて銅の鉱石を拾うことができる

■ 景観形成

○紅葉

- ・ 景観をよくするため道の駅や子守唄公園から見える樹木を針葉樹から広葉樹に変えてはどうか
- ・ 紅葉する部分が少ない。山全体が紅葉するのは九重だけである
- ・ 頭地地区は一部広葉樹が残っているため、今あるものも活用したい
- ・ 高野橋から見たらきれい。広葉樹にして紅葉が楽しめるかと観光客が増えるかもしれない

○サクラ

- ・ 高野地区のサクラはどこにも負けないくらいきれい
- ・ 五木源パークはサクラが侵食して芝生が枯れてしまうためグラウンドには植えないほうがよいと思う。切って山側に植えたほうが良いと思う
- ・ 野々脇もサクラはきれい
- ・ サクラのテング巣病が多いため心配である
- ・ 駐車場が多くないので道端から見る

■ 地区行事

- ・ 高野地区は高齢化も進み、防火対策を含む準備などの負担が大きく、どんどやの開催が毎年大変。分館単位や村全体の行事として実施すると負担が減るのではないか
- ・ 大々的に村全体の行事として実施すると、他地区との交流も生まれてよいのではないか
- ・ コミュニティバスを使った交流もできるかもしれない
- ・ 人が少なくなり、高齢化も進んで地区の行事ができなくなった。下の世代への役員の交代が難しい

■ 公共交通

- ・ バスがなくなったら高校生が通学できなくなるので配慮してほしい
- ・ バス停まで遠いので自家用車で下りたほうがはやい。バス停に行くまでの交通手段があるとよい
- ・ バスの利用目的の多くは病院通いのため、五木村の診療所の機能強化を行うのはどうか。人吉まで行かずに診察してもらえるように診療科を増やす

■ その他

- ・ 神屋敷は活かす価値のある場所であり、水を活かす方法を考えたい
- ・ 人材不足が深刻なので、住む場所と仕事をセットにして、移住・定住の取組みを活発に行ってほしい

3. 会員の感想等

各会員に協議会に参加した感想、東地区のまちづくりや五木村の将来に向けた期待等について、自由に記載してもらいました。

※事務局の判断により、一部、句読点を追加するなどの修正を行っています。

また、個人が特定される文言についても、最低限の修正を行っています。

<1>

①移住・定住

〇〇集落での災害住宅の取り壊しと、〇〇宅を早く住めるように一日も早くとりかかる。その周りの農地を整備し環境の改善を図ることにより、移住・定住につなげる。

②産業の振興

五木村は林業・農業の従事者が少ないため、山林・農地が荒れてしまうので作業従事者の人件費のアップと住環境の改善が必要である。また、新しい作物の導入と農地の確保が必要だと思う。

③生活環境の改善

- ・集落の簡易水道を村の管理に移行する。地区の人口減少のため、維持管理が出来なくなる。
- ・付替村道の早期の整備と大通トンネルの早期の着工が必要だと思う。

④平場の造成・利活用

五木村は平場が少ないため安全な場所がない。頭地地区だけが平場造成ができるので、農地・宅地になるような面積を多く造成してほしい。

<2>

〇協議会の進め方としては、個別案件のグループワークによる活発な意見から、東地区全体の取りまとめ、全体構想の提案に移行した方がよかったと思う。

〇国、県には地勢を踏まえ、五木村で生涯生活するための率直な指針となるアドバイスが頂きたい。

〇短期間の提案取りまとめ、事務局は大変な作業でお疲れ様です。
早期実現のため、国、県、村で話し合ってください。よろしくお願いします。

<3>

〇安定収入の確保・高齢化対策と取組み

〇移住者の住居の確保・義務教育の特徴ある学校づくり

〇のどかで親しみある五木村・各地区の水道水対策

〇五木村の特産品の取組み

協議会に参加して、五木村が好きだから皆さん活発な意見が出ていると思った。

<4>

父さんと人吉に行く時、いつも父さんが言っていた。

「このトンネルはいつ出来あがつかない。あんちゃん、このトンネルが出来れば、今ある頭地橋の上に高くて長い橋ばかけんばんたいない。」

「じゃっよ、五木村はダムが出来って、道路も公共施設も作らんばいない。父さん、母さん、もう少しで住み良か村が出来上がるばい。長生きしないよ。」

3人でいつも村の将来のことを話していた。それから少しずつ温泉、道の駅、五木源パークなど、それと父さんが話していた頭地大橋が出来上がった。自然も大分守られてきた。

その貯水型ダムが中止になり、人吉の水害で、突然、流水型ダムを造ることになり、その一番の犠牲になる自治体である五木村の東地区協議会の会員に選んでもらったこと、そして、自分が将来にわたる東地区、五木村の発展に少しでも関わっていることはこの上ない喜びです。1,000 人位の人口にあまり高望みすると、いつかツケが回る。必要のない公共物はよく考え、災害の少ない道路、子ども達が五木を作り、みんなが笑顔で青年が明日の希望を持てる、そんな五木になれたらと思う。

自分の一番は宮原五木線の道路改良工事が始まり、終わること。

<5>

東地区まちづくりグランドデザイン協議会に参加して思ったことは、会員の皆さんが、五木村のことや東地区のことをいろいろと考えられていることにとても感心しました。

他の委員の皆さんのように、五木村のこと、自分が住んでいる地域のことに対して、特に不自由に感じていなかったし、今のままでいいと思っていましたので、会員の皆さんのように自分は五木村のことを深く考えたことがあったのか、また、「住んでいる地区に必要なこととは」と考えたことがあったのかと考えてみると、何も考えていない自分に気づきました。

このことを機に、五木村のことを、東地区のことを住みよい環境に、安全安心な環境に、自分にできることを考えながら、小さなことからやっていきたいと思いました。この会員になれたことで気付かされたことがたくさんありました。ありがとうございました。

◎夜間の街灯が暗いに出ていたので、地区で付け替えたり、維持管理したりするには経費がかさむような話が出ていたので、安心安全を考えたいうえで、国・県・村等で負担していただくように要望します。

<6>

私は東地区の住民ではないので初めは戸惑いがあり、今でもまだ心の中に不安・葛藤があります。他の地区の者が東地区の会議にいるのか？と思う人もいます。しかし、村の将来を考えた時に、地区は関係なしに村民全員で考えるべきだと思います。計画倒れにならないよう、村民全体でこの計画が実現できればよいと思います。

<7>

○五木村東地区まちづくりグランドデザイン協議会に参加したことで、地域の課題や将来像について、深く考える機会を得ることが出来ました。特に地元住民の皆さんや関係者と直接意見を交換し、地域の発展に向けた具体的なビジョンが共有される場であったことが、印象に残りました。各分野での意見が積極的に交わされ、地域一丸となって未来に向けた歩みを進めようとする熱意を感じました。また、地域資源を活かしたまちづくりの重要性や住民同士の協力による地域の持続可能な発展について学びました。

○五木村の将来に向けた期待

①地域資源の活用、②若者の定住促進、③地域コミュニティの強化

○国、県、村に望むこと

①インフラ整備の支援、②地域振興策への支援、③若者や子育て世帯の支援強化

このように五木村東地区のまちづくりが進んでいくことに期待しつつ、国、県の支援が重要な役割を果たすことを強く感じました。

<8>

協議会に参加して、まず、議題の進行のあり方に少し疑問を感じた。

前半は一人ずつ意見を述べるだけで、会長が司会・進行するよりも総括してアドバイスや今後に対する意見が欲しかった。

後半はグループ別の討議で少しは踏み込んだ意見の内容になったのではと思う。各団体・地区代表が、皆それぞれに思うこと、要望を出し合ったことを協議会の案として実現されるよう提言してもらいたい。

東地区のダムを前提としたまちづくりについても、平場の問題を含め、移住定住、生活環境の改善、産業振興など、協議会で出た意見が一つでも反映され、実現し実感できるように願いたい。時間をかけず振興策が整い、これからの若者や移住者や住み続けたいと思うまちづくりに期待する。

村は協議会の意見を実現できることから早急に取り組んでもらい、村民が納得しうる内容であり、将来に負担をかけない振興であってほしい。

国、県はダムを前提として、いろいろな角度から関連事業に取り組みされることを期待したいが、すべてにおいてスピード感をもって、先延ばしにならないことを願いたい。

道路問題(アクセス)が不十分だと何も進まないし、人も集まらないし、振興も進まないと思う。まずは道路問題(トンネル問題を含め)最優先で取り組んでほしい。

協議会を通して、国、県、村のダム問題・振興策問題に携わっておられる関係者の皆様が一生懸命に取り組んでおられることに感謝致します。

ダム完成の折には、振興策が進み活気ある五木村がよみがえるように期待したい。

<9>

令和7年は乙巳(きのとみ)の年で、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と言われている。私も昨年から今年第9回目の出席をしている。地域の代表としてさまざまな意見を述べてきた。また、住民代表、商工業、農業、林業、物産観光、地域づくり、教育・子育て、学識経験者等の方が意見を述べておられる。

あらゆる角度からの意見は事務局の方でまとめておられる。新たな振興を実現するため、地域住民、関係機関等が参加し、本地区の活性化に必要なグランドデザイン策定に向けた調査、検討を行い、まちづくりの方向性を国、県、村に要望する。

<10>

○委員に選んでいただいたが、力不足だったと思う。挙手してマイクを持って発言する協議会は緊張の連続だった。場慣れしていない者にとっては、いろいろと深く考えてしまったこともあり、話しやすい場ではなかった。

○もっと女性や若い方が委員になると良いと思う。委員には肩書がない人も選ぶべきだと思う。

○東地区に住む女性との懇談会を実現できず中途半端になってしまったことが反省点。

○難しいと思うが、村長や村の意向があるのなら話せる範囲で話してもらった方がよいと思う。最後の協議会で話題にあがった東小学校校舎の活用の話がよい例で、噂レベルの話が色々話し合ったあとにそのようになれば、“最初からそのつもりだったんだろう”と話し合った時間や協議会自体が無意味なものに感じられてしまうと残念だ。

○提案書が将来の五木村をつくる上で、一助になればよいと思う。また、様々な課題があるなかで東地区(五木村)にとって何がより良い選択なのか熟慮していただければと思う。

<11>

協議会の会員として参加させていただき感謝申し上げます。若い方の御意見を聞き楽しく参加させていただきました。2回程度、私事都合で欠席し申し訳なく思っています。今後は微力ながら村の発展のため協力していきますので、どうか村民の幸福感が更に増すよう頑張ってくださいと思います。

<12>

東地区となっておりますが、五木全体の話でもあると思うので東地区だけで協議せずに、若者からある程度の年代まで五木村代表を決めて協議を行ってほしいと思います。